

[13] 延岡市小体連

(学校数27校 6486名)

I 年間事業

	事業名	事業内容	会場
5月8日(月)	第1回理事会	○ 会計予算審議 ○ 活動計画及び事業計画審議 ○ 役員選出	旭小
6月9日(金)	第2回理事会	○ 器械運動教室内容審議 ○ 陸上教室の概要説明	旭小
7月25日(火)	器械教室運動前日準備	○ 器械運動教室会場設営 ○ 指導方法確認	東小
7月26日(水)	平成29年度延岡市器械運動教室		東小
8月21日(月)	第3回理事会	○ 陸上教室について審議 ○ 器械運動教室反省 ○ 学体研打合せ	伊形小
10月26日(木) 27日(金)	第58回宮崎県学校体育 研究発表大会延岡・西臼 杵大会	○ 講演会 ○ 授業発表 ○ 授業研究会	市民体育館 伊形小
11月20日(月)	陸上教室前日準備	○ 会場設営 ○ 役員打合せ	西階陸上競 技場
11月21日(火)	平成29年度延岡市陸上 教室	○ 100m、50mH、走り幅跳び、走 り高跳び、ソフトボール投げ、800・ 1000m、4×100mリレー ○ 模範走(成迫健児氏、清山ちさと氏)	西階陸上競 技場
3月2日(金)	第4回理事会	○ 年間事業反省	旭小

II 事業部のあゆみ

1 器械運動教室

- (1) 大会名 平成29年度延岡市器械運動教室
- (2) 期 日 平成29年7月26日(水)
- (3) 会 場 延岡市立東小学校
- (4) 参加者 延岡市立の小学校に通う3・4年生の希望児童 160名
- (5) 内 容 延岡商業高校生徒及びさくら体操クラブによる模範演技
鉄棒(逆上がり) 跳び箱(開脚跳び)
- (6) 実施方法 ○ 児童をA, B2つのグループに分ける。
(Aグループ:鉄棒→跳び箱 Bグループ:跳び箱→鉄棒)
○ 各グループを10班に分け, 少人数での実技指導を行う
- (7) 日 程 ○ 開講式 9:00
○ 模範演技 9:15
○ 実技指導 9:55
○ 閉講式終了 12:25
- (8) 表 彰 参加児童全員に, 修了証を配付する

(9) 反省 (成果と課題)

- 指導法等の打ち合わせを行ったことで、共通した指導のもと逆上がりは13%、開脚跳びは63%の参加者が新たに技を習得できた。
- 97%の児童が楽しかったと回答していた。その理由として、「逆上がり」や「跳び箱がとべた」と回答していることが多く、他にも、「逆上がりがちょっとできた」や「跳び箱できれいに跳べた」ことなどが挙げられていた。
- 毎年、多くの児童が器械運動教室に参加しているが、場の設定や熱中症対策が課題として挙がっている。また、段階的な練習の在り方についてさらに工夫していく必要がある。この器械運動教室が、練習してみようと思わせるためのきっかけや、技のポイントをしっかりと伝えることができるような場として充実できるよう、さらに改善していきたい。

2 陸上教室

- (1) 大会名 平成29年度延岡市小学校陸上教室「オリンピックゲームズ」
- (2) 期 日 平成29年11月21日(火)
- (3) 会 場 西階陸上競技場
- (4) 参加者 延岡市立の小学校に通う6年生児童(一部5年生児童を含む)
- (5) 種 目
 - 100m(選抜・一般) ○ 50mハードル(選抜)
 - 800m(選抜女子) ○ 1000m(選抜男子)
 - 走り幅跳び(選抜男子・女子) ○ 走り高跳び(選抜男子・女子)
 - ソフトボール投げ(選抜男子・女子)
 - 4×100mリレー(選抜男子・女子)
- (6) 実施方法 ○ 宮崎県小学校体育連盟標準記録認定要領及び、陸上競技ルールブック2016に則って行い、一部ローカルルールを採用する。
○ 延岡市の小学校27校を集め、1日開催で行う。
- (7) 表 彰 各種目の上位3名を表彰する。
- (8) 反省(成果と課題)
 - 延岡市陸協の協力もあり、素晴らしい競技場で活動できたことや電子タイマーでの測定など陸上競技の醍醐味を味わい、多くの学校の児童と競い合えたことがよい刺激となった。
 - トップアスリートによる模範走やポイント指導により陸上競技に関する関心が高めることができた。
 - 延岡市陸協の協力を得ることができたが、競技役員などの人員の確保が難しかった。

3 体力向上の取組

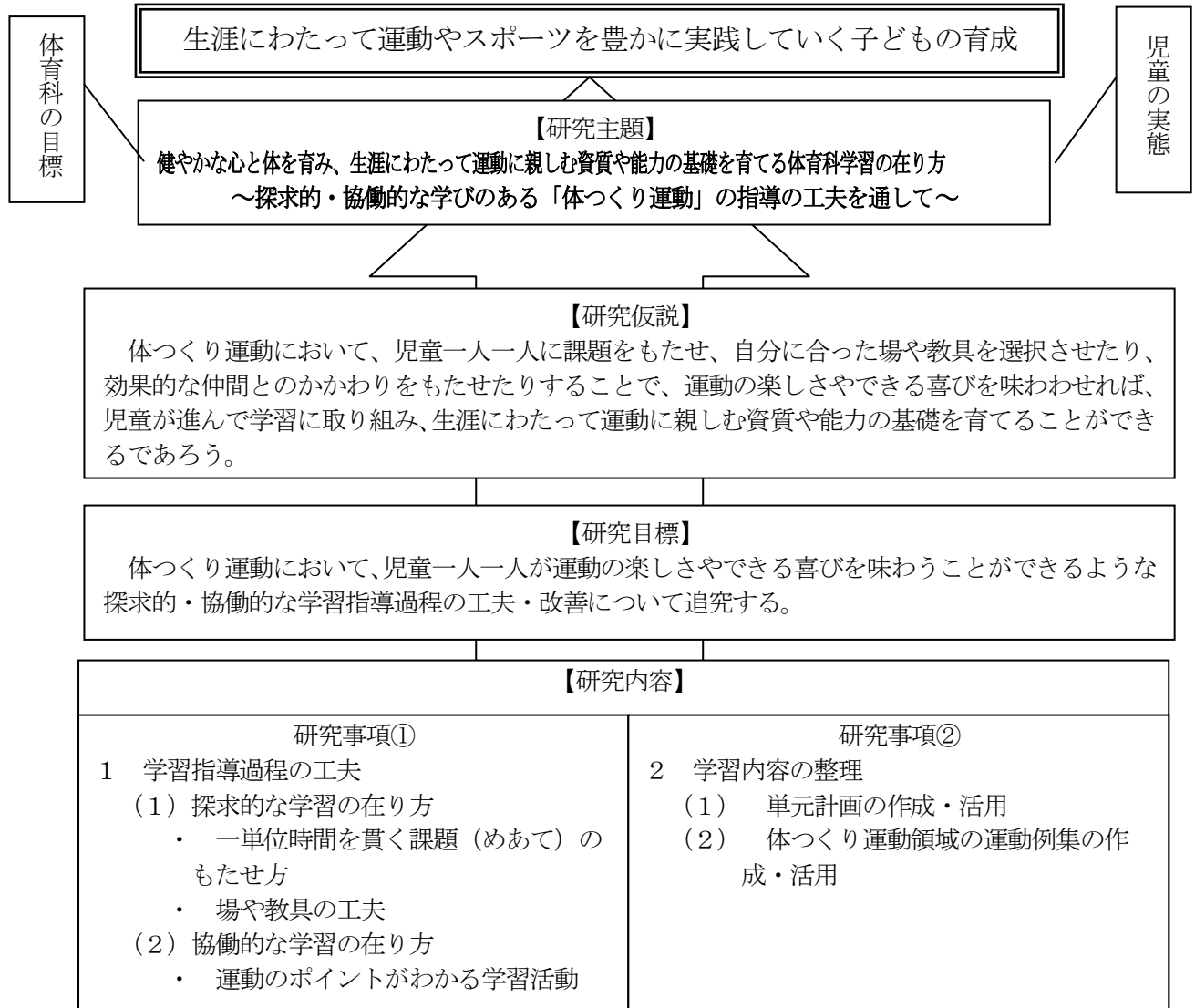
- (1) 期 日 平成29年5月～
- (2) 対 象 延岡市内の小学校に通う児童
- (3) 内 容 なわとび運動
- (4) 取組内容 ○ 延岡市小体連なわとびカードの活用
○ 延岡市なわとび大会の実施
・ 8の字跳び部門及び2重跳び部門
- (5) 成果と今後の見通し
 - 「延岡市なわとび大会」を行い、校内及び学校間で競い合いながら体力を高めている。
延岡市全体でなわとび運動に取り組んで5年目となるが、活動が活発になり、年々記録も伸び、体力の向上につながっていると見える。今後さらに活動が活発になるように取組を継続して行っていきたい。

Ⅲ 研究部のあゆみ

1 本年度研究主題

健やかな心と体を育み、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる体育科学習の在り方
～探求的・協働的な学びのある「体づくり運動」の指導の工夫を通して～

2 研究の構想（研究目標、研究仮説、研究内容）



3 研究の基本的な考え方～探求的・協働的な学びのある体育科学習とは 延岡市小体連では、探求的・協働的な学習を以下のように捉えた。

○ 探求的な学習とは

運動やスポーツの楽しさや健康の意味及びそれらの価値をふまえ、運動や健康についての自らの課題に気づき、その課題解決に向けて試行錯誤を繰り返しながら学びを進めること

○ 協働的な学習とは

運動・スポーツや健康について、自らの課題の解決に向けて児童同士、児童と教師、さらに児童と知識がかかわり合いながら、話し合ったり、教え合ったりして学びを深めていくこと

4 授業研究

第58回宮崎県学校体育研究発表大会【平成29年10月26・27日（木・金）】において、3教諭が授業を行った。

単元(領域)	学年	授業者
体づくり運動 (多様な動きをつくる運動)	4年	延岡小学校 教諭 田中 晃貴
体づくり運動 (体力を高める運動)	6年	東海小学校 教諭 片桐 康裕
保健「病気の予防 (生活行動がかかわって起こる病気の予防①)」	6年	伊形小学校 教諭 山本 祐也



5 研究の成果と課題

○ 視点に対する最終的な成果

(1) 探求的な学習の在り方～課題(めあて)設定とその解決について

- ・ 体づくり運動についても、保健学習についても、児童に課題意識をもたせることは難しい。しかし、体づくり運動では体力テストの結果等をもとに自己の体力について考えるきっかけを与え、それをもとに体づくり運動に主体的に取り組んでいる姿が見られた。
- ・ 児童一人一人が自分に合った課題を設定することができ、その課題を解決するために場や教具を選択する姿が見られた。また、振り返りの際にも、授業の始めに立てた自己の課題に対する感想等を書けている児童が多かった。
- ・ 場や教具の工夫を行ったことで、児童が意欲的に運動に親しむ姿が見られ、児童が運動の楽しさや体を動かす心地よさを感じることができた。

(2) 協働的な学習の在り方～わかる学習活動について

- ・ 教師が教えるべき内容をしっかりと教えることは大切である。教えるべき内容と考えさせる(工夫させる)内容をしっかりと区別し、授業展開をすることができた。
- ・ 運動のポイントをクラス全体で共有する時間を確保したり、上手に動ける児童を取り上げて称賛したりしたことで、児童が運動を行う上でよりポイントを意識して運動を行うことができたり、友達同士で具体的な言葉やポイントを押しえたアドバイスをしたりすることができた。
- ・ 運動のポイントや重要語句を掲示することで、児童が大切なことを理解して、主体的に活動を進めていくことができた。

● 課題

- ・ 探求的・協働的な学習を行っていく上で、教師が評価をし児童にフィードバックを行うことは大変重要である。しかし、評価の行い方や評価と指導のつながり等の研究が不十分であったため、評価に関する研究が必要である。
- ・ 学習指導過程や単元計画、運動事例集を作成したが、体育主任を中心にさらなる活用を図る必要がある。